



平成19年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社ナカノフードー建設
代表者名 取締役社長 橋本 武典
(コード番号 1827 東証・大証1部)
問い合わせ先 常務執行役員取締役 中野 功一郎

中間業績予想の修正ならびに特別利益及び特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成19年5月25日の決算発表時に公表いたしました平成20年3月期の中間業績予想の修正ならびに特別利益及び特別損失の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中間業績予想の修正

(1) 平成20年3月期 中間連結業績予想の修正 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成19年5月25日発表)	50,000	450	350	150
今回修正予想 (B)	49,100	930	960	460
増減額 (B-A)	△900	480	610	310
増減率 (%)	△1.8	106.7	174.3	206.7
前期 (平成19年3月期中間) 実績	39,610	△13	△134	△342

(2) 平成20年3月期 中間個別業績予想の修正 (平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成19年5月25日発表)	40,000	180	70	50
今回修正予想 (B)	38,920	530	550	340
増減額 (B-A)	△1,080	350	480	290
増減率 (%)	△2.7	194.4	685.7	580.0
前期 (平成19年3月期中間) 実績	30,226	△210	△284	△320

2. 修正の理由

中間期の業績につきましては、当社並びに海外子会社の完成工事利益率が改善し、当社において、為替差益の発生などにより営業外収支が改善されたこともあり、連結・個別の営業利益、経常利益は当初予想を大幅に上回る見込みです。

また、下記の特別利益、特別損失が発生いたしますが、中間純利益においても当初予想を上回る見込みであります。

3. 特別利益及び特別損失の計上について

当社は、中期経営計画に基づく財務体質の改善・強化のため資産効率の観点から保有資産を見直し、低効率の物件処分などを財源とした有利子負債の削減に努めております。

当中間期においては、当社におきまして、オーストラリアのホテルなどを売却したことによる固定資産売却益1,309百万円を特別利益に計上し、また、売却する方針を決定した事業用資産について固定資産（土地・建物）の減損損失1,303百万円を特別損失に計上いたします。

4. 通期業績予想について

平成20年3月期の連結・個別の通期業績予想につきましては、中間決算発表時（平成19年11月21日予定）にお知らせいたします。

以 上